

■ 当ファンドの仕組みは次の通りです。

商品分類	追加型投信／海外／株式
信託期間	無期限（設定日：2007年12月14日）
運用方針	マザーファンドへの投資を通じて、アセアン加盟国の取引所上場株式に投資し、信託財産の成長を目指して運用を行います。
主要投資対象	当ファンドは以下のマザーファンドを主要投資対象とします。 アセアンマザーファンド アセアン加盟国の取引所に上場している株式
当ファンドの運用方法	■主としてアセアン加盟国の取引所に上場している株式に投資し、信託財産の成長を目指して運用を行います。 ■銘柄選定にあたっては、各国・地域、各業種等において競争力があり、かつ財務健全性を備えた優良銘柄を中心に厳選し、投資します。 ■外貨建資産については、原則として、対円で為替ヘッジを行いません。
組入制限	当ファンド ■株式への実質投資割合には、制限を設けません。 ■外貨建資産への実質投資割合には、制限を設けません。 アセアンマザーファンド ■株式への投資割合には、制限を設けません。 ■外貨建資産への投資割合には、制限を設けません。
分配方針	■年2回（原則として毎年6月および12月の13日。休業日の場合は翌営業日）決算を行い、分配を行います。 ■分配対象額は、経費控除後の配当等収益と有価証券売買益（評価益を含みます。）等の全額とします。 ■分配金額は、委託会社が基準価額水準、市況動向等を勘案して決定します。 ※委託会社の判断により分配を行わない場合もあるため、将来の分配金の支払いおよびその金額について保証するものではありません。

アセアン成長国株 ファンド

【運用報告書（全体版）】

（2019年12月14日から2020年6月15日まで）

第 **25** 期
決算日 2020年6月15日

受益者の皆さまへ

平素は格別のお引立てに預かり、厚くお礼申し上げます。

当ファンドはマザーファンドへの投資を通じて、アセアン加盟国の取引所上場株式に投資し、信託財産の成長を目指して運用を行います。当期についても、運用方針に沿った運用を行いました。

今後ともご愛顧のほどお願い申し上げます。



〒105-6228 東京都港区愛宕2-5-1
<https://www.smd-am.co.jp>

■口座残高など、お取引状況についてのお問い合わせ

お取引のある販売会社へお問い合わせください。

■当運用報告書についてのお問い合わせ

コールセンター 0120-88-2976
受付時間：午前9時～午後5時（土、日、祝・休日を除く）

アセアン成長国株ファンド

■ 最近 5 期の運用実績

決算期	基準価額			(参考指数) MSCI東南アジアインデックス		株式組入率 比	投資信託 証券組入率	純資産額
	(分配落)	税金	騰落率	(円ベース)	騰落率			
	円	円	%			%	%	百万円
21期(2018年6月13日)	9,879	0	△ 1.3	110.17	△ 3.6	89.7	—	1,210
22期(2018年12月13日)	9,350	0	△ 5.4	104.27	△ 5.4	91.1	—	1,108
23期(2019年6月13日)	9,535	0	2.0	104.54	0.3	90.4	3.7	1,084
24期(2019年12月13日)	9,508	0	△ 0.3	103.55	△ 0.9	91.0	3.3	1,048
25期(2020年6月15日)	7,765	0	△ 18.3	85.29	△ 17.6	89.8	3.9	819

※基準価額の騰落率は分配金込み。

※当ファンドは親投資信託を組み入れますので、比率は実質比率を記載しています。

※株式組入比率には、新株予約権証券を含みます。

※MSCI東南アジアインデックス(円ベース)は、前日の指数を当日の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したもので、設定時を100として2020年6月15日現在知りえた情報にもとづき指数化した当社計算値です。

※MSCI東南アジアインデックスの著作権、知的所有権、その他一切の権利は発行者、許諾者が有しています。これら発行者、許諾者は当ファンドの運営に何ら関与するものではなく、当ファンドの運用成果に対して一切の責任を負うものではありません。

■ 当期中の基準価額と市況等の推移

年月日	基準価額		(参考指数) MSCI東南アジアインデックス		株式組入率 比	投資信託 証券組入率
	騰落率	騰落率	(円ベース)	騰落率		
(期首) 2019年12月13日	円	%		%	%	%
	9,508	—	103.55	—	91.0	3.3
12月末	9,654	1.5	106.01	2.4	91.9	3.4
2020年1月末	9,280	△ 2.4	101.65	△ 1.8	81.5	3.9
2月末	8,727	△ 8.2	94.22	△ 9.0	88.0	4.0
3月末	6,629	△ 30.3	70.84	△ 31.6	79.4	4.1
4月末	7,029	△ 26.1	75.99	△ 26.6	84.8	4.1
5月末	7,236	△ 23.9	78.79	△ 23.9	85.9	4.1
(期末) 2020年6月15日	7,765	△ 18.3	85.29	△ 17.6	89.8	3.9

※騰落率は期首比です。

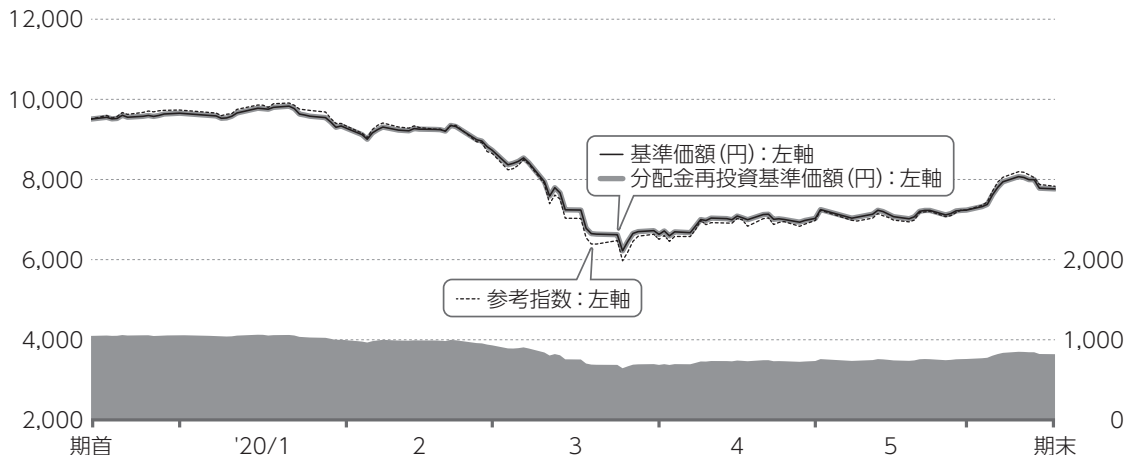
※当ファンドは親投資信託を組み入れますので、比率は実質比率を記載しています。

※株式組入比率には、新株予約権証券を含みます。

1 運用経過

基準価額等の推移について(2019年12月14日から2020年6月15日まで)

基準価額等の推移



※分配金再投資基準価額および参考指数は、期首の値が基準価額と同一となるように指数化しています。

期首	9,508円
期末	7,765円 (分配金0円(税引前)込み)
騰落率	-18.3% (分配金再投資ベース)

分配金再投資基準価額について

分配金再投資基準価額は分配金(税引前)を分配時に再投資したと仮定して計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示します。

※分配金を再投資するかどうかについては、受益者の皆さまがご利用のコースにより異なります。また、ファンドの購入価額などによって課税条件も異なります。したがって、受益者の皆さまの損益の状況を示すものではありません。(以下、同じ)

※当ファンドの参考指数は、MSCI東南アジアインデックス(円ベース)です。

※MSCI東南アジアインデックスの著作権、知的所有権、その他一切の権利は発行者、許諾者が有しています。これら発行者、許諾者は当ファンドの運営に何ら関与するものではなく、当ファンドの運用成果に対して一切の責任を負うものではありません。

基準価額の主な変動要因(2019年12月14日から2020年6月15日まで)

当ファンドは、マザーファンドへの投資を通じて、アセアン加盟国の取引所上場株式に投資しました。外貨建資産については、対円での為替ヘッジを行いませんでした。

下落要因

- 1月中旬から3月中旬にかけて、中国から発生した新型コロナウイルスの感染が世界各地に広がり、感染拡大への不安に加え、その対策による世界経済の悪化により、アセアン株式市場が大きく下落したこと
- アセアン通貨が対円で下落したこと

組入れファンドの状況

組入れファンド	投資資産	騰落率	期末組入比率
アセアンマザーファンド	外国株式	-17.8%	96.7%

※比率は、純資産総額に対する割合です。

投資環境について(2019年12月14日から2020年6月15日まで)

当期のアセアン株式市場(現地通貨建て)は下落しました。アセアン通貨は対円で下落しました。

アセアン株式市場

期初から1月中旬にかけてはもみ合いで推移しましたが、中国の武漢で新型コロナウイルスが発生し、1月下旬に株価は下落に転じました。2月から3月にかけて、韓国や欧米諸国へ感染が拡大し、感染拡大に対する不安(生命に対する不安)に加え、感染拡大抑制策による世界経済の悪化懸念が強まり、アセアン市場も含め、世界的に株式市場は大幅に下落しました。その後、中国で感染拡大が抑えられたことや、世界各地・各国で強力な金融・財政政策が発表されたことで、3月下旬から期末にかけて、アセアン株式市場は反発しました。

当期の市場の動きをMSCI東南アジアインデックス(米ドルベース)で見ると、期首に比べて12.5%の下落となりました。

為替市場

米ドル・円相場は期初から2月までは、堅調な米国経済動向などを受けて緩やかな米ドル高・円安で推移しました。コロナウイルスの感染拡大などを受け、米ドルがいったん

急落した後、世界的な金融市場の混乱を背景に米ドル資金に対する需要が高まり、米ドルが急反発するなど、3月は乱高下しました。4月から期末にかけては、市場の落ち着きに伴い、概ねボックス圏での動きとなりました。

アセアン通貨の米ドルに対する動きは、中国でコロナウイルスの感染拡大が明確になった1月下旬以降、米ドル高・アセアン通貨安の動きが3月下旬まで継続しました。その後は、米国での感染抑制が進まず、米国の金融緩和を背景に米ドルが弱含んだことにより、期末にかけて米ドル安・アセアン通貨高の動きとなりました。期を通してみれば米ドル高・アセアン通貨安となりました。米ドルが円に対して下落したこともあり、結果として、アセアン通貨は円に対して下落しました。

当期のシンガポールドル・円は、期首81円08銭から期末76円86銭と4円22銭のシンガポールドル安・円高、マレーシアリングギット・円は、期首26円47銭から期末25円05銭と1円42銭のマレーシアリングギット安・円高となりました。また、タイバーツ・円は、期首3円63銭から期末3円47銭と0円16銭のタイバーツ安・円高となりました。

ポートフォリオについて(2019年12月14日から2020年6月15日まで)

当ファンド

当ファンドは、「アセアンマザーファンド」への投資を通じて、アセアン加盟国の取引所上場株式に投資しました。外貨建資産については、対円での為替ヘッジを行いませんでした。

アセアンマザーファンド

●株式組入比率

株式組入比率は、資金異動などのために低下させた局面もありましたが、概ね高位を維持しました。

●国別配分

期を通じて、シンガポール、タイの組入れが高いポートフォリオになっています。相対的にはシンガポール、ベトナムなどを強気と判断しました。

●個別銘柄

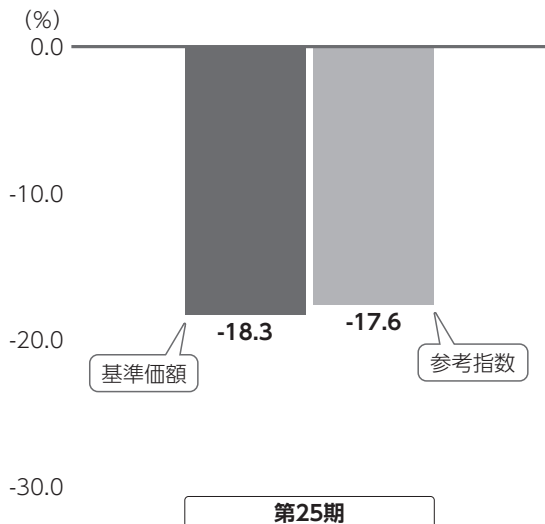
主として、個別銘柄の業績動向や見通し変更による入替えを行いました。期中にコロナウイルスの感染拡大があったため、マレーシアのカジノ銘柄やシンガポールの空港関連銘柄などを売却した一方、コロナウイルス収束後の需要回復を見越し、マレーシアやインドネシアの自動車銘柄を購入しました。

●ポートフォリオの特性

競争力、財務健全性、優れたコーポレート・ガバナンス(企業統治)を備えた銘柄を厳選しました。

ベンチマークとの差異について(2019年12月14日から2020年6月15日まで)

基準価額と参考指数の対比(騰落率)



※基準価額は分配金再投資ベース

当ファンドは運用の指標となるベンチマークはありませんが、参考指数としてMSCI東南アジアインデックス(円ベース)を設けています。

左のグラフは、基準価額と参考指数の騰落率の対比です。

分配金について(2019年12月14日から2020年6月15日まで)

(単位：円、1万口当たり、税引前)

項目	第25期
当期分配金	—
(対基準価額比率)	(—%)
当期の収益	—
当期の収益以外	—
翌期繰越分配対象額	2,248

当期の分配は、基準価額水準等を勘案し、見送りとしたしました。

なお、収益分配に充てなかった留保益につきましては、運用の基本方針に基づき運用いたします。

※単位未満を切り捨てているため、「当期の収益」と「当期の収益以外」の合計が「当期分配金」と一致しない場合があります。
 ※「対基準価額比率」は、「当期分配金(税引前)」の期末基準価額(分配金(税引前)込み)に対する比率で、当ファンドの収益率とは異なります。

2 今後の運用方針

当ファンド

「アセアンマザーファンド」を通じた運用を継続します。マザーファンドの組入比率は高位に保つ予定です。

アセアンマザーファンド

コロナウイルスに伴う影響は、多くの国で最悪期を脱しており、また経済活動の再開を評価して、株価は回復傾向にあります。实体经济や企業業績が本格的に回復軌道に乗るまでには暫くの時間を要する見込みであり、また米中間の対立激化や感染の第2波のリスクも残るため、アセアン株式市場は短期的

には値動きの荒い展開となると予想しています。

国別配分については、ベトナム、シンガポールに対して強気な見方を維持するとともに、国内の経済活動の再開が進んでいるタイに対しても強気な見方をしています。もう少し時間はかかると思われませんが、コロナウイルスの収束後の観光業の回復にも期待できると考えます。

銘柄選択においては、競争力、財務健全性、優れたコーポレート・ガバナンスを備えた銘柄を厳選いたします。

(2020年6月17日現在)

3 お知らせ

約款変更について

該当事項はございません。

アセアン成長国株ファンド

■ 1万口当たりの費用明細 (2019年12月14日から2020年6月15日まで)

項 目	金 額	比 率	項 目 の 概 要
(a) 信 託 報 酬 (投 信 会 社) (販 売 会 社) (受 託 会 社)	78円 (38) (36) (4)	0.962% (0.473) (0.445) (0.044)	信託報酬＝期中の平均基準価額×信託報酬率×(経過日数/年日数) 投信会社：ファンド運用の指図等の対価 販売会社：交付運用報告書等各種資料の送付、口座内でのファンドの管理、購入後の情報提供等の対価 受託会社：ファンド財産の保管および管理、投信会社からの指図の実行等の対価
(b) 売 買 委 託 手 数 料 (株 式) (新 株 予 約 権 証 券) (投 資 信 託 証 券)	15 (15) (0) (0)	0.182 (0.181) (0.000) (0.002)	売買委託手数料＝期中の売買委託手数料/期中の平均受益権口数 売買委託手数料：有価証券等の売買の際、売買仲介人に支払う手数料
(c) 有 価 証 券 取 引 税 (株 式) (新 株 予 約 権 証 券) (投 資 信 託 証 券)	5 (5) (0) (0)	0.059 (0.059) (0.000) (0.000)	有価証券取引税＝期中の有価証券取引税/期中の平均受益権口数 有価証券取引税：有価証券の取引の都度発生する取引に関する税金
(d) そ の 他 費 用 (保 管 費 用) (監 査 費 用) (そ の 他)	20 (19) (0) (0)	0.242 (0.238) (0.003) (0.001)	その他費用＝期中のその他費用/期中の平均受益権口数 保管費用：海外における保管銀行等に支払う有価証券等の保管および資金の送付・資産の移転等に要する費用 監査費用：監査法人に支払うファンドの監査費用 そ の 他：信託事務の処理等に要するその他費用
合 計	118	1.445	

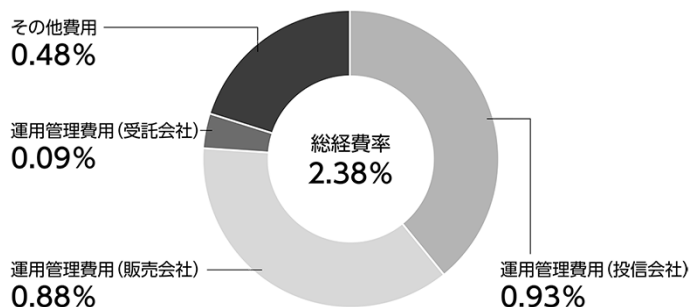
期中の平均基準価額は8,092円です。

※期中の費用（消費税のかかるものは消費税を含む）は、追加・解約によって受益権口数に変動があるため、簡便法により算出しています。
※比率欄は1万口当たりのそれぞれの費用金額を期中の平均基準価額で除して100を乗じたものです。

※各項目毎に円未満は四捨五入しています。

※売買委託手数料、有価証券取引税およびその他費用は、当ファンドが組み入れているマザーファンドが支払った金額のうち、当ファンドに対応するものを含みます。

参考情報 総経費率（年率換算）



※各費用は、前掲「1万口当たりの費用明細」において用いた簡便法により算出したもので、原則として、募集手数料、売買委託手数料および有価証券取引税を含みません。

※各比率は、年率換算した値（小数点以下第2位未満を四捨五入）です。

※上記の前提条件で算出しているため、「1万口当たりの費用明細」の各比率とは、値が異なる場合があります。なお、これらの値はあくまでも参考であり、実際に発生した費用の比率とは異なります。

当期中の運用・管理にかかった費用の総額（原則として、募集手数料、売買委託手数料および有価証券取引税を除く。）を期中の平均受益権口数に期中の平均基準価額（1口当たり）を乗じた数で除した総経費率（年率換算）は2.38%です。

アセアン成長国株ファンド

■ 当期中の売買及び取引の状況 (2019年12月14日から2020年6月15日まで)

親投資信託受益証券の設定、解約状況

	設 定		解 約	
	口 数	金 額	口 数	金 額
	千口	千円	千口	千円
アセアンマザーファンド	-	-	48,106	65,000

※単位未満は切捨て。ただし、単位未満の場合は小数で記載。

■ 親投資信託の株式売買金額の平均組入株式時価総額に対する割合

(2019年12月14日から2020年6月15日まで)

項 目	当 期	
	アセアンマザーファンド	
(a) 期中の株式売買金額	464,285千円	
(b) 期中の平均組入株式時価総額	736,467千円	
(c) 売買高比率 (a) / (b)	0.63	

※単位未満は切捨て。

※(b)は各月末現在の組入株式時価総額の平均。

※外貨建資産については、(a)は各月末（ただし、決算日の属する月については決算日）の日本の対顧客電信売買相場の仲値で換算した邦貨金額の合計、(b)は各月末の同仲値で換算した邦貨金額合計の平均です。

■ 利害関係人との取引状況等 (2019年12月14日から2020年6月15日まで)

当期中における利害関係人との取引等はありません。

※利害関係人とは、投資信託及び投資法人に関する法律第11条第1項に規定される利害関係人です。

■ 第一種金融商品取引業、第二種金融商品取引業又は商品取引受託業務を兼業している委託会社の自己取引状況

(2019年12月14日から2020年6月15日まで)

該当事項はございません。また委託会社に売買委託手数料は支払われておりません。

■ 組入れ資産の明細 (2020年6月15日現在)

親投資信託残高

種 類	期首(前期末)		期 末	
	口 数	金 額	口 数	評 価 額
	千口	千円	千口	千円
アセアンマザーファンド	709,947		661,840	792,487

※アセアンマザーファンドの期末の受益権総口数は661,840千口です。

※単位未満は切捨て。

■ 投資信託財産の構成

(2020年6月15日現在)

項 目	期 末	
	評 価 額	比 率
	千円	%
アセアンマザーファンド	792,487	95.6
コ ー ル ・ ロ ー ン 等 、 そ の 他	36,676	4.4
投 資 信 託 財 産 総 額	829,163	100.0

※単位未満は切捨て。ただし、単位未満の場合は小数で記載。

※アセアンマザーファンドにおいて、期末における外貨建資産（792,384千円）の投資信託財産総額（792,507千円）に対する比率は100.0%です。

※外貨建資産は、期末の時価を日本の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。なお、期末における邦貨換算レートは、1米ドル=107.24円、1シンガポールドル=76.86円、1マレーシアリンギット=25.05円、1タイバツ=3.47円、1フィリピンペソ=2.14円、100インドネシアルピア=0.77円、100ベトナムドン=0.46円です。

アセアン成長国株ファンド

■ 資産、負債、元本及び基準価額の状況

(2020年6月15日現在)

項 目	期 末
(A) 資 産	829,163,195円
コ ー ル ・ ロ ー ン 等	36,675,817
アセアンマザーファンド(評価額)	792,487,378
(B) 負 債	9,295,743
未 払 解 約 金	888,595
未 払 信 託 報 酬	8,377,247
未 払 利 息	62
そ の 他 未 払 費 用	29,839
(C) 純 資 産 総 額 (A - B)	819,867,452
元 本	1,055,873,521
次 期 繰 越 損 益 金	△ 236,006,069
(D) 受 益 権 総 口 数	1,055,873,521口
1 万 口 当 た り 基 準 価 額 (C / D)	7,765円

※当期における期首元本額1,102,507,061円、期中追加設定元本額65,813,527円、期中一部解約元本額112,447,067円です。

※上記表中の次期繰越損益金がマイナス表示の場合は、当該金額が投資信託財産の計算に関する規則第55条の6第10号に規定する額(元本の欠損)となります。

※上記表中の受益権総口数および1万口当たり基準価額が、投資信託財産の計算に関する規則第55条の6第7号および第11号に規定する受益権の総数および計算口数当たりの純資産の額となります。

■ 損益の状況

(自2019年12月14日 至2020年6月15日)

項 目	当 期
(A) 配 当 等 収 益	△ 6,449円
支 払 利 息	△ 6,449
(B) 有 価 証 券 売 買 損 益	△164,840,132
売 買 益	12,279,696
売 買 損	△177,119,828
(C) 信 託 報 酬 等	△ 8,413,348
(D) 当 期 損 益 金 (A + B + C)	△173,259,929
(E) 前 期 繰 越 損 益 金	△ 30,379,903
(F) 追 加 信 託 差 損 益 金	△ 32,366,237
(配 当 等 相 当 額)	(165,432,122)
(売 買 損 益 相 当 額)	(△197,798,359)
(G) 計 (D + E + F)	△236,006,069
(H) 収 益 分 配 金	0
次 期 繰 越 損 益 金 (G + H)	△236,006,069
追 加 信 託 差 損 益 金	△ 32,366,237
(配 当 等 相 当 額)	(165,541,672)
(売 買 損 益 相 当 額)	(△197,907,909)
分 配 準 備 積 立 金	71,831,562
繰 越 損 益 金	△275,471,394

※有価証券売買損益は期末の評価換えによるものを含みます。

※信託報酬等には、信託報酬に対する消費税等相当額を含めて表示しています。

※追加信託差損益金とあるのは、信託の追加設定の際、追加設定をした価額から元本を差し引いた差額分をいいます。

※当ファンドにおいて「アセアンマザーファンド」の運用の指図にかかる権限の一部委託に要する費用のうち、当ファンドに相当する費用は2,191,264円です。(2019年12月14日～2020年6月15日、当社計算値)

※期末における、費用控除後の配当等収益(2,669,527円)、費用控除後、繰越欠損金補填後の有価証券売買等損益(0円)、信託約款に規定される収益調整金(165,541,672円)および分配準備積立金(69,162,035円)より分配可能額は237,373,234円(1万口当たり2,248円)ですが、分配は行っておりません。

■ 分配金のお知らせ

1万口当たり分配金(税引前)	当 期
	- 円

上記のほか、投資信託財産の計算に関する規則第58条第1項各号に該当する事項はありません。

アセアンマザーファンド

第12期（2018年7月13日から2019年7月12日まで）

信託期間	無期限（設定日：2007年9月20日）
運用方針	<ul style="list-style-type: none"> 主としてアセアン加盟国の取引所上場株式（それに準ずるものを含みます。）に投資し、信託財産の成長を目指して運用を行います。 運用にあたっては、運用の指図に関する権限の一部をスミトモ ミツイ アセットマネジメント（ホンコン）リミテッドに委託します。 外貨建資産については、原則として対円で為替ヘッジを行いません。

■ 最近5期の運用実績

決算期	基準価額		(参考指数) MSCI東南アジアインデックス (円ベース)		株式組入率 比	投資信託 組入率 比	純資産額
	騰落率	中率	騰落率	中率			
	円	%		%	%	%	百万円
8期（2015年7月13日）	14,421	6.6	119.79	4.4	98.1	—	1,530
9期（2016年7月12日）	11,462	△20.5	94.69	△21.0	93.6	—	1,083
10期（2017年7月12日）	13,557	18.3	110.60	16.8	97.6	—	1,255
11期（2018年7月12日）	14,063	3.7	109.31	△1.2	92.5	—	1,125
12期（2019年7月12日）	15,115	7.5	114.90	5.1	92.6	3.8	1,105

※株式組入比率には、新株予約権証券を含みます。

※MSCI東南アジアインデックス（円ベース）は、前日の指数を当日の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したもので、設定時を100として2019年7月12日現在知りえた情報にもとづき指数化した当社計算値です。

※MSCI東南アジアインデックスの著作権、知的所有権、その他一切の権利は発行者、許諾者が有しています。これら発行者、許諾者は当ファンドの運営に何ら関与するものではなく、当ファンドの運用成果に対して一切の責任を負うものではありません。

■ 当期中の基準価額と市況等の推移

年月日	基準価額		(参考指数) MSCI東南アジアインデックス (円ベース)		株式組入率 比	投資信託 組入率 比	純資産額
	騰落率	騰落率	騰落率	騰落率			
(期首) 2018年7月12日	円	%		%	%	%	
7月末	14,441	2.7	112.19	2.6	94.8	—	—
8月末	14,725	4.7	112.33	2.8	97.0	—	—
9月末	14,899	5.9	113.54	3.9	95.8	—	—
10月末	13,775	△2.0	104.39	△4.5	96.9	—	—
11月末	14,177	0.8	110.32	0.9	97.0	—	—
12月末	13,492	△4.1	106.20	△2.8	92.2	—	—
2019年1月末	14,049	△0.1	110.82	1.4	90.6	3.4	3.4
2月末	14,811	5.3	114.33	4.6	92.9	3.3	3.3
3月末	14,600	3.8	111.60	2.1	93.8	3.6	3.6
4月末	14,919	6.1	114.29	4.5	93.4	3.5	3.5
5月末	14,070	0.0	106.46	△2.6	93.4	3.7	3.7
6月末	14,807	5.3	113.03	3.4	92.8	3.7	3.7
(期末) 2019年7月12日	15,115	7.5	114.90	5.1	92.6	3.8	3.8

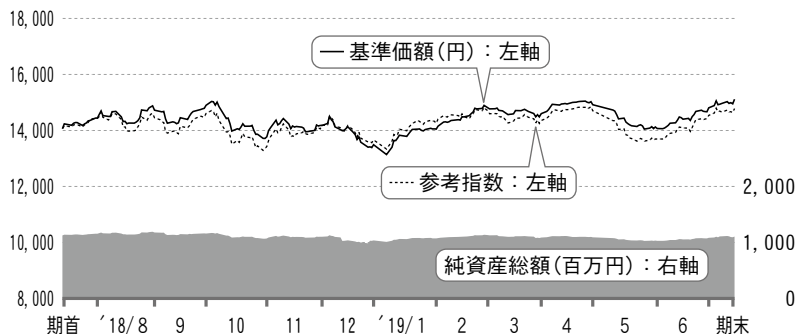
※騰落率は期首比です。

※株式組入比率には、新株予約権証券を含みます。

1 運用経過

▶ 基準価額等の推移について（2018年7月13日から2019年7月12日まで）

基準価額等の推移



期首	14,063円
期末	15,115円
騰落率	+7.5%

※参考指数は、期首の値が基準価額と同一となるように指数化しています。

※当ファンドの参考指数は、MSCI東南アジアインデックス（円ベース）です。

※MSCI東南アジアインデックスの著作権、知的所有権、その他一切の権利は発行者、許諾者が有しています。これら発行者、許諾者は当ファンドの運営に何ら関与するものではなく、当ファンドの運用成果に対して一切の責任を負うものではありません。

▶ 基準価額の主な変動要因（2018年7月13日から2019年7月12日まで）

当ファンドは、アセアン加盟国の取引所上場株式に投資しました。外貨建資産については、対円での為替ヘッジを行っていません。

上昇要因

- ・米中の貿易協議の進展期待や米国の利上げ観測の後退、利下げ期待などから、期を通してみれば、アセアン株式市場の多くが上昇したこと
- ・タイバーツなどが対円で上昇したこと

下落要因

- ・シンガポールドル、マレーシアリングgitなどが対円で下落したこと

▶ 投資環境について (2018年7月13日から2019年7月12日まで)

当期のアセアン株式市場は上昇しました。為替市場はまちまちな動きとなりました。

アセアン株式市場

期首から2018年12月にかけては、米中貿易協議の深刻化・長期化や米国での利上げ継続などに対する懸念から、多くのアセアン株式市場は軟調に推移しました。1月以降は、米中協議の進展期待などから世界の株式市場が反発、アセアン市場は各市場の独自要因などを背景にまちまちな動きを見せる局面があったものの、概ね堅調に推移しました。

5月上旬にトランプ米大統領が中国からの2,000億ドル相当の輸入品に対する関税引上げを発表し、その後中国の大手通信機器製造会社である華為技術（ファーウェイ）に対する部品供給の禁止措置も発表されたことにより、米中間の対立懸念が強まりました。しかしながら、6月末のG20（主要20カ国・地域）サミットでの米中首脳会談開催が決定したことや米国の利下げ期待などから底打ちし、期末にかけて上昇しました。

当期の市場の動きをMSCI東南アジアインデックス（米ドルベース）で見ると、期首に比べて9.6%上昇しました。

為替市場

期を通じて、円、アセアン通貨ともに、米中貿易協議の動向や米国の金融政策に対する思惑などに左右される展開となりました。また、各国の経済状況や選挙を含む政治状況などを反映し、まちまちな動きとなりました。

シンガポールドル・円は、期首82円17銭から期末79円92銭と2円25銭のシンガポールドル安・円高となり、マレーシアリングgitは、期首27円73銭から期末26円39銭と1円34銭のマレーシアリングgit安・円高となりました。一方、タイバーツは、期首3円36銭から期末3円53銭と0円17銭のタイバーツ高・円安となりました。

▶ ポートフォリオについて (2018年7月13日から2019年7月12日まで)

株式組入比率

株式組入比率は期を通じて高位を維持しました。

国別配分

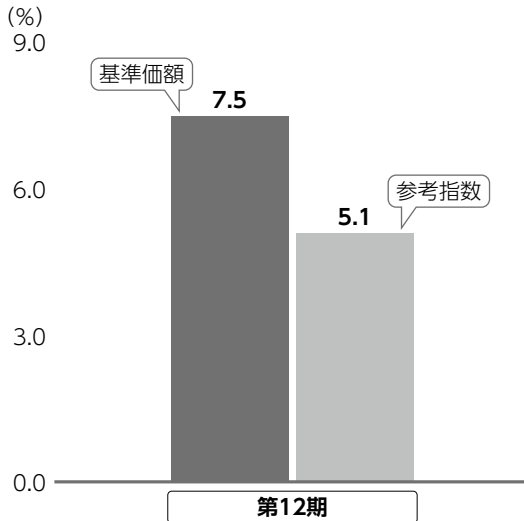
期首は堅調な経済成長が期待されるベトナム、タイを優位と判断していましたが、タイについては2018年7月に強気姿勢を解消しました。一方、ファンダメンタルズ（基礎的條件）がより強固なシンガポールを優位と判断し、また選挙結果を受けてインドネシアの評価を引き上げました。

個別銘柄

主として、個別銘柄の業績動向や見通し変更による銘柄入替えを行いました。主な取引では、株価が大きく上昇したシンガポールの畜産・食肉加工会社のジャブファやフィリピン不動産会社のピスタ・ランドなどの利益確定売りを行いました。一方、消費者の所得水準増加の恩恵が大きいと判断し、フィリピンのレストランチェーンのシェーキーズ・ピッツアを組入れたほか、観光需要の拡大が継続する見込みからタイの空港運営会社のタイ空港公社を購入しました。

ポートフォリオの特性

競争力、財務健全性、優れたコーポレート・ガバナンス（企業統治）を備えた銘柄を厳選しました。

▶ベンチマークとの差異について（2018年7月13日から2019年7月12日まで）**基準価額と参考指数の対比（騰落率）**

当ファンドは運用の指標となるベンチマークはありませんが、参考指数としてMSCI 東南アジアインデックス（円ベース）を設けています。

左のグラフは、基準価額と参考指数の騰落率の対比です。

2 今後の運用方針

アセアン諸国の経済は、中期的に内需に支えられて底堅い成長が予想されます。また、いくつかの国ではインフレ率の落ち着きや米国の金融政策の変化を受けて金融緩和に転じており、成長の後押しが見られます。

米中の対立は長期化する可能性も高く、先行きに対して不透明感が強いものの、アセアン域内では内需拡大や公共投資の拡大により、来年にかけても経済は良好な状況が続くと見込んでいます。また、米中対立の影響で、一部の国には中国からの生産拠点のシフトなども見られます。

アセアン域内の株式市場は堅調なファンダメンタルズと、割高感のないバリュエーション（価格評価）を背景に、中長期的な相場上昇余地は大きいと考えます。

国別の配分については、相対的にベトナム、フィリピン、インドネシアなどを優位と判断しています。

銘柄選択においては、競争力、財務健全性、優れたコーポレート・ガバナンスを備えた銘柄を厳選します。

アセアンマザーファンド

■ 1万口当たりの費用明細 (2018年7月13日から2019年7月12日まで)

項 目	金 額	比 率	項 目 の 概 要
(a) 売 買 委 託 手 数 料 (株 式) (投 資 信 託 証 券)	32円 (31) (1)	0.224% (0.217) (0.007)	売買委託手数料＝期中の売買委託手数料／期中の平均受益権口数 売買委託手数料：有価証券等の売買の際、売買仲介人に支払う手数料
(b) 有 価 証 券 取 引 税 (株 式) (投 資 信 託 証 券)	9 (8) (0)	0.059 (0.058) (0.001)	有価証券取引税＝期中の有価証券取引税／期中の平均受益権口数 有価証券取引税：有価証券の取引の都度発生する取引に関する税金
(c) そ の 他 費 用 (保 管 費 用) (そ の 他)	60 (60) (0)	0.416 (0.416) (0.000)	その他費用＝期中のその他費用／期中の平均受益権口数 保管費用：海外における保管銀行等に支払う有価証券等の保管および資金の送回金・資産の移転等に要する費用 そ の 他：信託事務の処理等に要するその他費用
合 計	101	0.699	

期中の平均基準価額は14,397円です。

※期中の費用（消費税のかかるものは消費税を含む）は、追加・解約によって受益権口数に変動があるため、簡便法により算出しています。
※比率欄は1万口当たりのそれぞれの費用金額を期中の平均基準価額で除して100を乗じたものです。
※各項目毎に円未満は四捨五入しています。

■ 当期中の売買及び取引の状況 (2018年7月13日から2019年7月12日まで)

(1) 株 式

		買 付		売 付	
		株 数	金 額	株 数	金 額
外 国	シ ン ガ ポ ー ル	百株 1,245	千シンガポールドル 520	百株 8,720	千シンガポールドル 1,349
	マ レ ー シ ア	9,957 (1,500)	千マレーシアリングgit 2,272 (△ 52)	3,700	千マレーシアリングgit 1,428
	タ イ	2,130	千タイバーツ 21,786	5,615	千タイバーツ 35,909
	フ ィ リ ピ ン	27,675	千フィリピンペソ 49,460	30,800	千フィリピンペソ 25,668
	イ ン ド ネ シ ア	48,886	千インドネシアルピア 7,103,517	26,850	千インドネシアルピア 6,450,010
	ベ ト ナ ム	132 (48)	千ベトナムドン 1,288,457 (-)	2,659	千ベトナムドン 5,646,149

※金額は受渡し代金。

※単位未満は切捨て。ただし、単位未満の場合は小数で記載。

※()内は株式分割、予約権行使、合併等による増減分で、上段の数字には含まれておりません。

アセアンマザーファンド

(2) 投資信託証券

			買 付		売 付	
			口 数	買 付 額	口 数	売 付 額
外	シンガポール	MAPLETREE INDUSTRIAL TRUST	100,000 (-)	千シンガポールドル 200 (△0.25)	-	千シンガポールドル -
		KEPPEL DC REIT	175,000	242	-	-
国	合 計		275,000 (-)	443 (△0.25)	-	-

※金額は受渡し代金。

※単位未満は切捨て。ただし、単位未満の場合は小数で記載。

※()内は分割・償還等による増減分で、上段の数字には含まれておりません。

※銘柄コードの変更等、管理上の都合により同一銘柄であっても別銘柄として記載されている場合があります。

■ 株式売買金額の平均組入株式時価総額に対する割合

(2018年7月13日から2019年7月12日まで)

項 目	当 期
(a) 期 中 の 株 式 売 買 金 額	748,239千円
(b) 期 中 の 平 均 組 入 株 式 時 価 総 額	1,036,382千円
(c) 売 買 高 比 率(a)/(b)	0.72

※単位未満は切捨て。

※(b)は各月末現在の組入株式時価総額の平均。

※外貨建資産については、(a)は各月末(ただし、決算日の属する月については決算日)の日本の対顧客電信売買相場の仲値で換算した邦貨金額の合計、(b)は各月末の同仲値で換算した邦貨金額合計の平均です。

■ 利害関係人との取引状況等 (2018年7月13日から2019年7月12日まで)

当期中における利害関係人との取引等はありません。

※利害関係人とは、投資信託及び投資法人に関する法律第11条第1項に規定される利害関係人です。

■ 第一種金融商品取引業、第二種金融商品取引業又は商品取引受託業務を兼業している委託会社の自己取引状況

(2018年7月13日から2019年7月12日まで)

該当事項はございません。また委託会社に売買委託手数料は支払われておりません。

■ 組入れ資産の明細 (2019年7月12日現在)

(1) 外国株式

銘 柄	期首(前期末)		期 末		業 種 等
	株 数	株 数	評 価 額	評 価 額	
			外貨建金額	邦貨換算金額	
(シンガポール)	百株	百株	千シンガポールドル	千円	
SINGAPORE TECHNOLOGIES ENG	1,300	1,000	427	34,125	資本財
DBS GROUP HOLDINGS LTD	260	220	563	45,028	銀行
SATS LTD	780	630	333	26,634	運輸
CAPITALAND LTD	850	980	361	28,900	不動産
HAW PAR CORP LTD	370	240	343	27,447	医薬品・バイオテクノロジー・ライフサイエンス
UNITED OVERSEAS BANK LTD	190	255	674	53,883	銀行

アセアンマザーファンド

銘柄	期首(前期末)		期末		業種等	
	株数	株数	評価額 外貨建金額	評価額 邦貨換算金額		
VENTURE CORP LTD		130	170	260	20,800	テクノロジー・ハードウェアおよび機器
SINGAPORE TELECOMMUNICATIONS		500	900	317	25,390	電気通信サービス
OVERSEA-CHINESE BANKING CORP		490	300	344	27,524	銀行
SHENG SIONG GROUP LTD		3,900	2,600	288	23,064	食品・生活必需品小売り
JAPFA LTD		6,000	—	—	—	食品・飲料・タバコ
小計	株数・金額 銘柄数<比率>	14,770 11	7,295 10	3,913 —	312,802 <28.3%>	
(マレーシア)				千マレーシアリンギット		
IJM CORP BHD		—	2,800	658	17,364	資本財
ORIENTAL HOLDINGS BERHAD		—	800	527	13,912	自動車・自動車部品
PARAMOUNT CORP BHD		3,000	—	—	—	不動産
TENAGA NASIONAL BHD		330	270	370	9,775	公益事業
UCHI TECHNOLOGIES BERHAD		2,600	2,600	735	19,417	テクノロジー・ハードウェアおよび機器
PUBLIC BANK BERHAD		760	670	1,541	40,666	銀行
MMS VENTURES BHD		—	7,500	551	14,547	資本財
GENTING BHD		973	1,330	883	23,305	消費者サービス
PETRONAS CHEMICALS GROUP BHD		1,200	650	546	14,408	素材
小計	株数・金額 銘柄数<比率>	8,863 6	16,620 8	5,812 —	153,400 <13.9%>	
(タイ)				千タイバツ		
SIAM COMMERCIAL BANK PUBLIC CO LTD-NVDR		710	—	—	—	銀行
BANGKOK BANK PUBLIC CO LTD-NVDR		270	270	5,292	18,680	銀行
PTT PUBLIC COMPANY LIMITED- NVDR		1,000	1,000	4,825	17,032	エネルギー
SIAM CEMENT PUBLIC CO LTD (THE) -NVDR		200	200	9,160	32,334	素材
AIRPORTS OF THAILAND PCL -NVDR		—	500	3,687	13,016	運輸
AEON THANA SINSAP THAI-NVDR		—	265	6,095	21,515	各種金融
THAI OIL PUBLIC CO LTD-NVDR		900	500	3,550	12,531	エネルギー
SOMBOON ADVANCE TECHNOLOGY PCL-NVDR		4,800	2,200	4,026	14,211	自動車・自動車部品
GLOW ENERGY PLC- NVDR		950	—	—	—	公益事業
CP ALL PCL-NVDR		540	—	—	—	食品・生活必需品小売り
PTT GLOBAL CHEMICAL PLC-NVDR		—	950	5,890	20,791	素材
MK RESTAURANTS GROUP-NVDR		1,100	1,100	8,690	30,675	消費者サービス
NAMYONG TERMINAL PCL-NVDR		18,200	18,200	9,191	32,444	運輸
小計	株数・金額 銘柄数<比率>	28,670 10	25,185 10	60,406 —	213,234 <19.3%>	
(フィリピン)				千フィリピンペソ		
BANK OF PHILIPPINE ISLANDS		550	780	6,255	13,261	銀行
ALLIANCE GLOBAL GROUP, INC.		—	8,000	12,592	26,695	資本財
DMCI HOLDINGS INC		10,500	—	—	—	資本財
SECURITY BANK CORP		—	620	11,147	23,632	銀行
AYALA CORPORATION		115	130	11,856	25,134	各種金融
FIRST GEN CORPORATION		—	4,162	11,091	23,514	公益事業
VISTA LAND & LIFESCAPES INC		25,300	10,000	7,240	15,348	不動産
D&L INDUSTRIES INC		6,100	8,600	8,823	18,706	素材
SHAKY'S PIZZA ASIA VENTURES		—	7,148	10,050	21,306	消費者サービス
小計	株数・金額 銘柄数<比率>	42,565 5	39,440 8	79,056 —	167,600 <15.2%>	

アセアンマザーファンド

銘柄	株数	期首(前期末)		期末		業種等
		株数	株数	評価額		
				外貨建金額	邦貨換算金額	
(インドネシア)						
PT UNITED TRACTORS TBK DISTRIBUTES	—	500	—	千インドネシアルピア 1,400,000	10,920	エネルギー
BUKIT ASAM TBK PT	5,700	—	—	—	—	エネルギー
PT BANK RAKYAT	15,000	10,000	—	4,510,000	35,178	銀行
PT BANK CENTRAL ASIA TBK	2,350	2,200	—	6,627,500	51,694	銀行
ADARO ENERGY TBK PT	10,000	—	—	—	—	エネルギー
PAKUWON JATI TBK PT	—	37,186	—	2,751,764	21,463	不動産
TELEKOMUNIKASI TBK PT	—	5,200	—	2,220,400	17,319	電気通信サービス
小計	株数 銘柄数	金額 比率	33,050 4	55,086 5	17,509,664 —	136,575 <12.4%>
(ベトナム)						
VIETNAM DAIRY PRODUCTS JSC	240	355	—	千ベトナムドン 4,444,600	20,889	食品・飲料・タバコ
PETROVIETNAM TRANSPORTATION CORPORATION	2,400	—	—	—	—	エネルギー
JSC BANK FOR FOREIGN TRADE	740	545	—	4,037,440	18,975	銀行
小計	株数 銘柄数	金額 比率	3,380 3	900 2	8,482,040 —	39,865 <3.6%>
合計	株数 銘柄数	金額 比率	131,298 39	144,526 43	— —	1,023,478 <92.6%>

※邦貨換算金額は、期末の時価を日本の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。

※〈〉内は、純資産総額に対する各国別株式評価額の比率。

※単位未満は切捨て。ただし、単位未満の場合は小数で記載。

※—印は組入れなし。

※銘柄コードの変更等、管理上の都合により同一銘柄であっても別銘柄として記載されている場合があります。

(2) 外国投資信託証券

銘柄	株数	期首(前期末)		期末		組入比率
		口数	口数	評価額		
				外貨建金額	邦貨換算金額	
(シンガポール)						
MAPLE TREE INDUSTRIAL TRUST	—	—	—	千シンガポールドル 232	千円 18,541	1.7
KEPPEL DC REIT	—	—	—	294	23,496	2.1
合計	口数 銘柄数	金額 比率	— —	275,000 2	526 —	42,037 <3.8%>

※邦貨換算金額は、期末の時価を日本の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。

※〈〉内は、純資産総額に対する評価額の比率。

※単位未満は切捨て。ただし、単位未満の場合は小数で記載。

※—印は組入れなし。

※銘柄コードの変更等、管理上の都合により同一銘柄であっても別銘柄として記載されている場合があります。

アセアンマザーファンド

■ 投資信託財産の構成

(2019年7月12日現在)

項 目	期 末	
	評 価 額	比 率
株 式	千円	%
株 式	1,023,478	92.6
投 資 証 券	42,037	3.8
コ ー ル ・ ロ ー ン 等 、 そ の 他	40,143	3.6
投 資 信 託 財 産 総 額	1,105,658	100.0

※単位未満は切捨て。ただし、単位未満の場合は小数で記載。

※期末における外貨建資産（1,105,535千円）の投資信託財産総額（1,105,658千円）に対する比率は100.0%です。

※外貨建資産は、期末の時価を日本の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。なお、期末における邦貨換算レートは、1米ドル=108.54円、1シンガポールドル=79.92円、1マレーシアリングギット=26.39円、1タイバツ=3.53円、1フィリピンペソ=2.12円、100インドネシアルピア=0.78円、100ベトナムドン=0.47円です。

■ 資産、負債、元本及び基準価額の状況

(2019年7月12日現在)

項 目	期 末
(A) 資 産	1,105,658,747円
コ ー ル ・ ロ ー ン 等	38,515,331
株 式(評価額)	1,023,478,081
投 資 証 券(評価額)	42,037,920
未 収 配 当 金	1,627,415
(B) 純 資 産 総 額(A)	1,105,658,747
元 本	731,515,221
次 期 繰 越 損 益 金	374,143,526
(C) 受 益 権 総 口 数	731,515,221口
1万口当たり基準価額(B/C)	15,115円

※当期における期首元本額800,149,951円、期中追加設定元本額43,566,535円、期中一部解約元本額112,201,265円です。

※上記表中の次期繰越損益金がマイナス表示の場合は、当該金額が投資信託財産の計算に関する規則第55条の第6第10号に規定する額（元本の欠損）となります。

※期末における元本の内訳は、アセアン成長国株ファンド731,515,221円です。

※上記表中の受益権総口数および1万口当たり基準価額が、投資信託財産の計算に関する規則第55条の第7号および第11号に規定する受益権の総数および計算口数当たりの純資産の額となります。

■ お知らせ

<約款変更について>

委託会社の合併に伴う商号変更および電子公告アドレスの変更に対応するため、信託約款に所要の変更を行いました。
(適用日：2019年4月1日)

■ 損益の状況

(自2018年7月13日 至2019年7月12日)

項 目	当 期
(A) 配 当 等 収 益	38,332,469円
受 取 配 当 金	38,165,094
受 取 利 息	167,451
支 払 利 息	△ 76
(B) 有 価 証 券 売 買 損 益	48,625,265
売 買 益	125,681,903
売 買 損	△ 77,056,638
(C) 信 託 報 酬 等	△ 4,547,776
(D) 当 期 損 益 金(A + B + C)	82,409,958
(E) 前 期 繰 越 損 益 金	325,098,838
(F) 追 加 信 託 差 損 益 金	16,433,465
(G) 解 約 差 損 益 金	△ 49,798,735
(H) 計 (D + E + F + G)	374,143,526
次 期 繰 越 損 益 金(H)	374,143,526

※有価証券売買損益は期末の評価換えによるものを含みます。

※信託報酬等には、保管費用等を含めて表示しています。

※追加信託差損益金とあるのは、信託の追加設定の際、追加設定をした価額から元本を差し引いた差額分をいいます。

※解約差損益金とあるのは、中途解約の際、元本から解約価額を差し引いた差額分をいいます。

※当ファンドの運用の指図にかかる権限の一部委託に要する費用は5,603,674円です。(2018年7月13日～2019年7月12日、当社計算値)